

【取材のお願い】 歴史のある秋の味覚が登場 「蓮台寺柿」初出荷

伊勢市にあるＪＡ伊勢蓮台寺柿共選場で「蓮台寺柿」の出荷が９月２４日から始まります。１１月中旬までに約７０トンを県内市場に出荷する見込みです。

蓮台寺柿は伊勢市で約３５０年前から栽培され、市の天然記念物に認定されています。不完全甘柿のため、二酸化炭素を用いて１日かけて渋抜きをしてから出荷されます。

また、平成２３年度には、三重県の各地区で当たり前に食べられている農林水産資源の、隠れたビジネス価値を発掘する目的で行われている「バイオトレジャー発見事業」で「三重のバイオトレジャー」に選定されるなど、注目を集めています。

出荷前にはＪＡ伊勢蓮台寺柿部会員らで園地を巡回し、着色や病害虫などを確認したほか、目揃え会を開き、出荷規格の再確認や出荷を迎えるにあたっての意識統一などを行ってきました。

同部会では、部会員３５戸が、約１.３㌦の面積で「蓮台寺柿」を栽培しています。

昨年の選果の様子



蓮台寺柿



「蓮台寺柿出荷作業（選果）」

日時：９月２４日（木）午後３時００分～
（１時間程度）

場所：ＪＡ伊勢蓮台寺柿共同選果場
（伊勢市藤里町４８９-１）

※取材にお越しいただける場合は、
事前にご連絡いただけると幸いです。

※写真の提供も可能です。

【お問い合わせ先】

ＪＡ伊勢 経営企画部企画広報課
（広報担当：大山）

TEL: [Tel:0596-62-1125](tel:0596-62-1125)

FAX: 0596-62-1126

Email: ooyamay@ise.jamie.or.jp